

健やかに 稲 実る棚田に 働き者の子どももあり



学校隣接の水田に田植えをしたのは6月10日のこと。豊作を夢見て4枚の棚田にもち米の苗をしっかりと植えました。季節は秋。全4アール程の水田の稲は黄金色に色づき、逞しく成長しました。5年生の子ども達は、除草や栄養管理も含めて、当番制で田圃の水の様子を確認しながら、稲の生長を見守ってきました。そして10月2日に収穫の日を迎えました。子ども達は鎌を巧みに使い、稲束づくりなど保護者の皆様のボランティア支援を受けて、3時間ほどで刈り取り完了しました。二週間余りの、はぜ掛け中には台風19号の襲来もありましたが、強風に飛ばされることもなく全て無事でした。



10月26日(土)10時~12時、PTA主催事業「ふれあい夢フェスタ'19」では、5学年のブースで、脱穀、精米したばかりの「もち米」が販売される予定です。

風子さんからいただいた言葉 「夢を かなえよう」

20 数年ぶりにお会いした風子さんは、やっぱり「本気で」「真剣で」「精一杯に」「明るく」生きておられました。講演中に料理もされているとお話されていましたが、講演後、校長室でスマホを取り出して「卵焼き」料理中の写真を見せてくださいました。

風子さんがくださった言葉の奥には、「夢をかなえるための努力をすること」「夢を夢のままにしておくことなく、寸暇を惜しまずしっかりと勉強してください」というメッセージが込められているように思います。



学び舎が 避難所に。一つしかない命を守る 避難行動

台風 19 号の襲来に伴い、県全域に避難指示が発令され、10 月 12 日(土)夕刻より、地域の皆様には本校も避難所の一つとして開放いたしました。被災者の皆様には、お見舞い申し上げます。本校では最大で 88 世帯、256 人、犬 2 匹の避難を受け入れました。雨が降り続き、千曲川増水に伴う河川氾濫の情報も不安を増大させました。不幸中の幸いにも被災児童は 0 でした。避難所開設はいたしましたが、治田の語源が「墾田」の通り、歴史を遡れば佐野川決壊、蟹澤川の洪水など、水害の危険が伴った地域です。あらためてハザード・マップをご覧ください、一つしかない命を守る行動をお願いします。



子ども音楽コンクールにて「かてんぱぱ賞」をいただきました

○ 10 月 14 日(月) に、上田市丸子セレスホールにて開催されました「第 55 回 SBC 子ども音楽コンクール」に出場を果たした金管バンド 38 名が、堂々たる演奏を披露いたしました。

努力の甲斐あって「かてんぱぱ賞」を受賞いたしました。私は、部長さんが行った学校紹介の発表の際の抑揚ある豊かな表現力に感心いたしました。演奏ステージの全てが SBC ラジオにて放送されるとのことですので、ラジオプログラムをご確認ください。